

# Atsugi

広報あつぎ

2023

9.1

No.1406

index

- ② 地場農産物の提供機会を増加
- ③ 家庭に合う施設で子育てを
- ④⑤ 特集 文化芸術をそばに  
絵と音楽のちから
- ⑥⑧ 街の話題/コラム/お知らせ

Public Relations Paper Atsugi City



## 日常に芸術を

筆は紙の上に世界を描き、指は音で思いを奏でる。市内を見渡すと芸術はさまざまな姿で私たちの生活に寄り添っています。芸術に触れる皆さんの周りには、笑顔や真剣なまなざしがあふれています。

《4・5面に関連記事》

文化生涯学習課 ☎225-2508

Zoom Up

# 学校給食に厚木産の米や野菜を

# 地場農産物の提供機会を増加

食への関心を高めるため、市では学校給食の献立に地場農産物を取り入れる「パクパクあつぎ産デー（以下あつぎ産デー）」を設けています。2学期からはあつぎ産デーの回数を増やし、新たに月1回の「あつぎ産米」の提供もスタート。市内の農産物を味わう機会を増やし、食育を進めます。

学校給食は、栄養バランスが取れた食事による健康増進や食習慣の形成など、子どもの体づくりや食育に大切な役割を担っています。市では、食への興味や関心を育むため、2008年から市内で採れたニンジンや大根、ジャガイモ、小松菜などの野菜を献立に取り入れたあつぎ産デーを開始。2学期からは、地場農産物の使用を拡大します。

## 地元食材を身近に

拡大の対象は、市立全小・中学校です。子どもたちに地元食材をより身近



1954年から提供が始まった厚木の学校給食

に感じてもらうため、市内で収穫した「あつぎ産米」を使った給食を月1回提供。さらに、これまで月3回程度実施していたあつぎ産デーを月5回に増やします（左欄参照）。生産者が分かるため、新鮮な野菜・果物を安心して食べられます。使用する地場野菜は、JAあつぎと各地域の農家の協力を経て仕入れるため、地産地消の促進や地域とのつながりも深められています。

子どもが小・中学校に通う中川朝子さん（40・温水西）は「近くの田んぼや畑で採れた農産物を口にできる良い取り組みだと思う。給食を通して地元のことを知り、食べ物や生産者への感謝の気持ちを持ってほしい」と話します。

## 心身の成長の土台を

市ではあつぎ産デーの他にも、季節の行事食や古くから伝わる郷土食などを給食で提供しています。昨年9月には最新の調理設備などを導入した新しい学校給食センターもオープンしました。今後も安心・安全でおいしい給食を提供し、子どもたちの健やかな成長を支えていきます。

☎学校給食課 ☎225-2668

## 地場農産物の使用を拡大

**新** 9月から月1回、市内で収穫された「あつぎ産米」による米飯給食を実施

**増** 「パクパクあつぎ産デー」の実施を月3回程度から月5回程度に増加



### 《パクパクあつぎ産デーとは》

市立小・中学校の給食に地場農産物を取り入れた献立の日。地元食材を使用し、子どもたちへの食育を推進しています。

### 《主な農産物》

大根、タマネギ、キャベツ、ジャガイモ、小松菜、里芋、白菜、ニンジンなど



詳しくはこちら

☎学校給食課 ☎225-2668

## 新型コロナワクチン接種のお知らせ

※情報は8月17日時点

国の方針に基づき、集団接種は縮小し個別接種を中心とした体制に移行するため、個別接種を検討してください。

### 令和5年秋開始接種（9月20日～）

初回接種を終え、最終接種日から3カ月経過した方を対象にオミクロン株XBB.1.5に対応した1価ワクチンの接種を実施します。

《接種券》①3～6回目未接種の方＝手元の接種券を使用②令和4年秋・5年春開始接種を6月までに接種済みの方＝9月上旬に発送。以降、最終接種日から3カ月経過する月末に発送 ※集団接種は12歳以上のみ

【個別接種】《期間》9月20日～3月 《場所》市内約60医療機関

《ワクチン》ファイザー・モデルナ

【集団接種】《期間》10月18日～11月11日の夜間を中心に12日間

《場所》保健福祉センター 《ワクチン》モデルナ

☎いずれも接種券に同封するチラシや市HPに掲載。

### 令和5年春開始接種（9月19日まで延長）

感染時に重症化リスクが高い方、医療従事者などを対象に実施しています。

《対象》初回接種が完了し、最終接種日から3カ月経過した①65歳以上②基礎疾患のある5～64歳③医療従事者、高齢者・障害者施設従事者

【個別接種】《場所》市内54医療機関 《ワクチン》ファイザーBA.4-5

☎送付済みの接種券に同封のチラシや市HPに掲載。

☎市ワクチン接種コールセンター ☎0570-054-666

入場無料

## あつぎSDGsフェスティバル

体験ブースや展示など、子どもから大人まで楽しみながらSDGsを学べるイベントです。

☎企画政策課 ☎225-2450

《日時》9月24日 10～16時

《場所》あつぎ市民交流プラザ

《内容》eスポーツ交流会、SDGsすごろく体験、クイズラリー、間伐材を使った工作、VRで体験するSDGs、子どもたちの絵の展示（青空おやつ提供）、まちのコイン「アユモ」関連ブースなど

☎不要。



詳しくはこちら



昨年開催したイベントの様子



まちのコイン

## まちのコイン アユモ

楽しみながらSDGsを実践できるスマートフォンアプリです。環境や地域に良いことをするとコインがたまり、市内店舗などでお得な体験に使えます。



詳しくはこちら



エアマットを使い全身運動を楽しむ幼稚園児

## Zoom Up

# 保育所・幼稚園・認定こども園の申し込み開始 家庭に合う施設で子育てを

市内には、育児をサポートする保育所と教育が受けられる幼稚園、両方を兼ねた認定こども園があります。11月から各施設の入園申し込みが始まります。家庭や子どもに合った施設を見つけてみませんか。

### 家庭に合う施設を選択

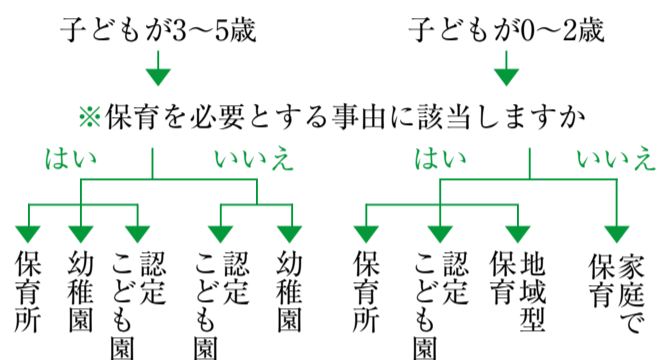
共働きの家庭は、2022年に全国で1262万件に上り、15年前に比べて約250万世帯増えています。市では保育施設の需要の高まりを受け、施設の増加や保護者の状況に合わせた情報提供などで入所を支援しています。

入所に向けて初めに必要なのは、施設の特徴を知ることです。保育所も幼稚園も、友だちと一緒に過ごしながら集団生活を学べる施設ですが、預けられる子どもの年齢などが異なります(左欄参照)。保育所は、仕事や病気などで子どもを見るのが難しい保護者に代わり保育する児童福祉施設。幼稚園は、就学に向けた教育施設で自然との触れ合いや温水プールの活用など園ごとに特色があります。他にも、保育と教育を一体的に実施する認定こども園や、0〜2歳を保育する地域型保育があり、家庭の状況に合う施設が選べます。

### 子育てしやすいまちに

市では、出勤前に子どもを預けられ

### 利用できる施設を確認



#### ※保育を必要とする事由

- ①就労②妊娠・出産③保護者の疾病、障害④同居または長期入院している親族の介護・看護⑤災害復旧⑥求職活動⑦就学⑧虐待やDVの恐れがある一のものに該当

#### 施設の概要

- 保育所(園)**: 就労などで保育ができない保護者に代わり保育する施設
- 地域型保育**: 0〜2歳児の子どもを少人数で預かる施設
- 認定こども園**: 幼稚園と保育所の機能を持つ施設
- 幼稚園**: 小学生以降の基礎をつくる教育施設。朝・夕の時間の預かり保育も実施

### 申し込み方法 2024年4月入所(園)

#### ■保育所・認定こども園

《受け付け》11月1日〜  
※詳しくは広報あつぎ10月15日号や市HPに掲載

#### ■幼稚園

《入園願書配布》10月15日〜  
《願書受け付け》11月1日〜  
※願書や募集要項は各園で配布



幼稚園一覧

るよう、託児を兼ねた幼稚園送迎ステーションを運営(左下欄参照)。さらに、受け入れ体制を整えるため、保育士や幼稚園教諭に助成金も交付しています(下欄参照)。子育てしやすい環境の整備を進め、21年から待機児童数0を継続中です。これからの保育のニーズに対応し、誰もが安心して子どもを育てられるように取り組んでいます。

園保育所・保育課 ☎25-2262  
幼稚園・認定こども園・こども育成課 ☎25-2262



## 働く家庭を支援 幼稚園送迎ステーション

託児を兼ねた幼稚園への送迎サービスです。朝・夕方のみ、週1回など使い方は自由。家庭に合わせて利用できます。 ☎こども育成課 ☎225-2262



- 《朝》7時15分〜8時15分
- 《夕方》18時30分〜19時30分
- ☑直接、幼稚園へ。

詳細はこちら



回答で500円分のクオカードをプレゼント

### こども・子育てモニターを募集

インターネットで年数回実施する子育てに関するアンケートに回答していただける方を募集します。

- 《対象》市内在住の18歳未満の①子ども②子どもがいる保護者各100人

☑Eメールにて住所、氏名、生年月日を書き、11月30日までに、こども育成課 ☐2180@city.atsugi.kanagawa.jpへ。



申し込みはこちら

☎こども育成課 ☎225-2262

## 保育士・幼稚園教諭の就職支援

### 保育のしごと就職フェアin厚木

現役保育士が園の紹介や就職のアドバイスをします。

- 日時 9月30日 13〜16時
- 場所 あつぎ市民交流プラザ
- 対象 市内保育施設に就職希望または保育の仕事に興味がある方(託児あり。1歳〜小学3年生10人。9月14日までに申し込み。先着順)
- 費用 無料
- ☑不要。

愛TV/9/1〜



### ■イベント・保育施設のパネル展示

- 日時 9月1〜14日
- 場所 本厚木ミロード
- 費用 無料
- ☑不要。



詳細はこちら



### 保育士・幼稚園教諭の助成金

#### ■奨学金返済助成金

対象 市内在住で市内の民間保育所・幼稚園に常勤で勤め、奨学金を返済している採用後4年未満の方

#### ■転入奨励助成金

対象 市内に転入し市内の民間保育所・幼稚園などに就職または勤務している方

#### ■復職等奨励助成金

対象 市内在住で保育士・幼稚園教諭として働いていない期間が1年以上あり、市内の民間保育所・幼稚園に常勤として就職した方

補助額や申し込み方法はこちら



☎保育士: 保育課 ☎225-2768 ・ 幼稚園教諭: こども育成課 ☎225-2262

### 青空 おやつ の し く み

おえかきすると... おやつがもらえます

かいたえは...  
もってかえる

わたしたえは...  
えをもったひどが、おやつをかうおかねをくれる

青空おやつが、えがほしいひとをさがす

だれかの おやつになる

だれかの おやつになる

だれかの おやつになる

※イラストは「やゆようこ」名義で絵本なども手掛ける鈴木さん作



そんな二人が2020年に始めたのが「青空おやつ」です。「緑のまつり」でブースを出した時、5月なのに真夏の服装で、何度も人恋しそうにやってくる子がいた。何かできることはないか考えたきつかけをそう振り返ります。思い付いたのは、誰にでもできる絵を使って「やさしさをふやすしくみ」をつくること。気持ちよく絵を描いてもいいおやつを渡す。絵を気に入った人

二人は公園にシートを敷き終えても、子どもたちを誘うことはありません。「描きたいときだけ、描いてくればいい。言葉に出せない気持ちがあっても、絵を描くことですっきりすることもある」と話す鈴木さん。松村さんは「子どもの引く線は、とてもいい。毎回、それを見られてうれい」と、描いている子どもに声を掛けず、少し離れた場所からそっと見守ります。

優しいさを未来につなげる

「青空おやつは、回を重ねるごとに描いていく子どもが増え、顔なじみもできています。「子どもとの出会いなど、得るものはとても多い」と話す松村さん。「将来、参加した子どもたちの誰かが、公園で絵を描いたことを思い出して、何か始めるきっかけになればうれしい」と鈴木さんはほほ笑みます。二人はこれからも心地よい距離感で、子どもたちの絵を見続けていきます。

日曜の昼下がり、厚木中央公園の木陰に張られたシートの上で、子どもたちが額に汗を浮かべて絵を描いています。「できたよ」「いい絵が描けたね」。おやつはそれジュースを受け取り、子どもたちはそれぞれの遊び場へと走り去って行きます。市内にあるデザイン事務所・ティラミスが取り組む「青空おやつ」(左図参照)。今年1月、県の「かながわ子ども・子育て支援草の根賞」に選ばれました。

絵で私たちにできること

ティラミスは、鈴木洋子さん(岡田)と松村剛司さん(岡田)が、8年前に設立したデザイン事務所です。共に市内の小学校を卒業し、多くの時間を厚木で過ごしてきた二人。これまで、市のPRポスターや動画などに加え、アユヤホルモン、イチゴ、ヤマビルなどをモチーフにしたグッズも手掛けてきました。

は募金と引き換えに持ち帰れる。そしてその募金で次のおやつを買う。「初回は自分たちのお金でおやつを買ったけれど、それ以降は皆さんの募金で運営できている」と松村さんは話します。二人は公園にシートを敷き終えても、子どもたちを誘うことはありません。「描きたいときだけ、描いてくればいい。言葉に出せない気持ちがあっても、絵を描くことですっきりすることもある」と話す鈴木さん。松村さんは「子どもの引く線は、とてもいい。毎回、それを見られてうれい」と、描いている子どもに声を掛けず、少し離れた場所からそっと見守ります。

おやつは季節に合わせて毎回違う物を用意する

### 青空おやつ展@アミューあつぎ

「緑のまつり」の来場者が描いた絵を展示。その場で描くこともできます。

日時 9月1日～10月1日  
9～22時(映画館の開館時間)

場所 アミューあつぎ  
☎広報課☎225-2040



## 特集：文化芸術をそばに 絵と音楽のちから

伸び伸びと描いた絵は誰かのためになり、豊かな音の響きがみんなの気持ちを軽くする。文化芸術には、楽しむだけではない、人の心に作用する力があります。特集では、絵と音楽を通じて、子どもたちやまちの未来のために活動する人たちを追いました。

☎文化生涯学習課☎225-2508

### 厚木の文化芸術

市内には、文化・芸術に親しめるサークルや講座などが多くあります。皆さんも参加してみませんか。

イベント情報  
市内の文化・芸術関連のイベント情報を市HPに掲載しています。

文化芸術の秋  
10・11月に、市民文化祭、あつぎ青空アート展などを開催します。(詳細は次号以降の広報あつぎに掲載)

講座予約システム  
市や関係団体などの講座・イベントを掲載。申し込みには登録が必要です。

サークル情報  
市内で活動するサークルなどの情報を市HPに掲載しています。

文化生涯学習チャンネル  
美術や音楽などに関連する動画を公開しています。  
☎文化生涯学習課☎225-2508

文化会館のイベント  
文化会館は改修のため休館中ですが、他の公共施設などでイベントを実施しています。  
☎文化振興財団☎225-2588



堀米さんは、コンサートやレコーディングなど、幅広い分野で活躍する音楽家です。最近では、東京2020五輪・開閉会式、朝の連続テレビ小説「らんまん」の音楽にも携わるなど、2人の子どもを育てながら精力的に活動しています。ハープとの出会いは7歳の時。テレビに映る奏者の姿に引かれたことがきっかけでした。以来、家族でコンサートに行ってもハープばかりが目が行くようになり、親に「楽器をやりたい」と伝え続けました。念願のレッスンに通い始めたのは小学5年生の頃。「初めて楽器に触れたときのキラキラした気

音楽を共有する喜び  
ハープ奏者 堀米綾さん

バイオリンにチェロ、そしてハープ。音色の異なる弦楽器の調べが豊かに重なり、文化会館のロビーに響き渡ります。6月に開かれた「ふらっとふえすていはる」のコンサート。最終曲の「花のワルツ」が始まると、子どもたちは席から立ち上がり、手をたたいたり体を動かしたりして、自由に楽しんでいきます。「子どもたちは大人と違うポイントで音楽を楽しんでいる。目の前で演奏して反応を見られるのがうれしい」。ハープ奏者の堀米綾さん(恩名)は、穏やかな表情で会場の様子を見つめていました。

忘れないキラキラした気持ち

子どもたちのために  
堀米さんが子どもたちのための活動に力を入れ始めたのは、コロナ禍がきっかけでした。マスクを着けて過ごす息子たちの姿を見て「子どもたちのために何かしたい」と、強く思うようになりました。昨年度には市内の小学校6校でも演奏を披露。子どもたちは真剣なまなざしで聞き入っていました。音楽の魅力は「同じ空間にいる人たちが、音に身を委ねる時間を共有できること」と語る堀米さん。結婚を機に暮らし始めた厚木市で、音楽の輪を広げていきます。

そんな堀米さんも、その後進んだ東京芸術大学付属高校・大学では、周りのレベルの高さに自信を失い、音楽の道を進むことを迷った時期がありました。「人前で演奏するのがとても苦手だった。思い返すと、知識と努力、経験が足りなかった。正しい練習が支えてくれると分かってから「何があっても大丈夫」と、演奏を楽しめるようになった」。卒業後もアルバイトをしながら演奏を続け、ジャズやポップスなど、ジャンルを超えた音楽家との出会いを重ね、活動の幅を広げていきました。



## 帰ってきた夏の風物詩

4年ぶりに2日間の「あつぎ鮎まつり」を開催



フィナーレを飾った「大ナイアガラ」

家族で訪れた碓井菜月さん(30・飯山)は「鮎まつりには毎年来ています。夏の開催はとても暑いですが、浴衣を着ている人を見ると夏を感じられるのがいい」と笑顔で話しました。

市内最大のイベント「あつぎ鮎まつり」を8月5・6日の2日間にわたり開催しました。各会場では、名物のアユの塩焼きなどの屋台が並び、パレードやダンスパフォーマンスなどが披露され、延べおよそ28万人の来場者でにぎわいました。初日の夜には大花火大会を開催。約1万発の花火が厚木の夜空を彩り、終盤に約300発に及ぶ仕掛け花火「大ナイアガラ」が披露されると、会場からは大きな歓声が上がりました。

## 消防の技術を競う

4年ぶりに消防団消防操法大会を開催

最優秀賞を受賞した第2分団チーム(依知地区)指揮者の佐藤洋輝さん(36・関口)は「賞が発表された時は感動しました。受賞できたのは皆さんの応援と励ましのおかげ」と喜びました。最優秀賞チームは、来年1月の消防出初め式でも演技を披露します。



正確に的を狙う消防団員たち

消防本部は7月、消防基本技術と士気の向上のため、資器材の操作技術を競う消防団消防操法大会を開催しました。地域の防災活動を担う消防団8チームが参加。市民や消防団の仲間が見守る中、4人1組でチームを組み、日頃の訓練の成果を披露しました。選手たちは、素早く正確な操作でポンプにホースを結合し、号令を掛け合いながら放水開始。勢いよく放たれた水で火元に見立てた的が倒れると、会場からは拍手が湧き起こりました。



## 命を守るヘルメットの着用を

市内の高校生を「ヘルメットインフルエンサー」に任命

通学で自転車の利用が多い高校生にヘルメット着用を促すため、厚木西高校の生徒30人を「ヘルメットインフルエンサー」に任命しました。生徒たちは、通学時などにヘルメットを着用し、他の生徒や市民に必要性を発信します。



任命式後に厚木警察署員から自転車の交通ルールを学んだ

任命式では、山口市長がヘルメットを贈呈した後、生徒一人一人に任命書を手渡しました。任命された酒井慧さん(2年生)は「私たちがヘルメットを着用するなど交通マナーを守り、交通安全の輪を広げたい」と話しました。道路交通法改正により4月からヘルメットの着用が努力義務化。市では、購入費の助成を増額するなど着用率の向上に取り組んでいます。

## 地域の力で犯罪に強いまちに

安心・安全セーフコミュニティ推進地区に16地区を指定

地域の防犯活動の強化・促進のため、「安心・安全セーフコミュニティ推進地区」の指定式を開催しました。各地区の代表者に山口市長から指定書、有原厚木警察署長から安心・安全と書かれたプレートを手渡ししました。指定地区では、防犯パトロールや子どもの見守りなどに取り組みます。推進地区代表の片岡俊治さんは「犯罪の防止や交通安全、けがの予防などセーフコミュニティの取り組みを充実させ、身近な安心・安全活動を積極的に展開する」と力強く決意表明しました。セーフコミュニティ(SC)は、事故やけがは予防できるという理念の下、安心・安全に暮らせるまちをみんなでつくる取り組みです。市は2010年に世界保健機関が推奨するSCの国際認証を取得し、21年には3度目の認証を受けています。



片岡さん(中央)から決意表明書を受け取った山口市長と有原署長

## 第6回 みんなで目指そう カーボンニュートラル

カーボンニュートラル(CN)とは、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出を減らし、植林や森林管理などによる吸収量を増やすことで、実質ゼロを目指す取り組みです。連載では、今日から挑戦できる取り組みを紹介します。

### 今月の挑戦 エコ窓にしよう



内窓設置で省エネに

窓は家の中で熱の出入りが最も多く、冷暖房の効果に大きく影響します。冷暖房は家庭のエネルギー消費の約3割。今ある窓の内側に窓を取り付ける「内窓」などのエコ窓にすることで省エネ効果が期待できます。

補助金や減税制度(要件あり)を利用して、環境と家計にやさしいエコ窓にしてみませんか。

CNプラットフォームでは、家の断熱性能や補助金などを紹介しています



環境政策課 ☎225-2749



厚木市長 山口貴裕



(左から) 梅澤さん・中村幹夫実行委員長と花火打上げのカウントダウン

皆さん、4年ぶりにフルスペックで開催したあつぎ鮎まつり、楽しんでいただけましたか。28万人の方にお越しいただき、大きな事故もなく終えられたことに安堵しています。私も花火のカウントダウンや厚木のみこし、民踊おどりなどに参加して多くの笑顔に出会い、祭りの熱気を間近に感じる事ができました。子どもの頃から親しんできた祭りですが、初めて主催者として携わり改めて感じたことがあります。それ

今年は、市内出身のアナウンサー・梅澤廉さんも花火大会に登場し、花を添えてくださいました。幼い頃から家族と花火を見に来ていたという梅澤さんの司会で、会場は例年にも増して盛り上がりを見せていました。鮎まつりは、多くの皆さんにとってなじみの深いイベントだと思えます。この祭りや市内で開かれるイベントをより誇れるものとして後世に伝えないでいけるよう進化させ、まちの活性化につなげてまいります。

は、この祭りがたくさんの人に愛され、支えられているということ。市内外から来てくださるお客さん、出演者の皆さん、花火師さん、警察関係者、運営スタッフなど、多くの人の関わりがあってこそこのイベントだと実感した二日間でした。

# タウンガイド

| 9月 |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 日  | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
|    |    |    |    |    | 1  | 2  |
| 3  | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  |
| 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
| 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 |
| 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 |

| 10月 |    |    |    |    |    |    |
|-----|----|----|----|----|----|----|
| 日   | 月  | 火  | 水  | 木  | 金  | 土  |
| 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 7  |
| 8   | 9  | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| 15  | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22  | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29  | 30 | 31 |    |    |    |    |

☑=申し込み ☎=問い合わせ ☎=電話番号  
 ㊚=ファクス番号 ✉=Eメール HP=ホームページ  
 📄=講座予約システム(インターネットで申し込み可)  
 愛TV 9/1~ =市広報番組あつぎ愛テレビ  
 市役所への郵便物は「〒243-8511〇〇課」で届きます。

## あつぎのしゃしん。



「夏の雲」  
 #8月2日撮影  
 #猿ヶ島  
 #入道雲  
 #niceatsugi  
 市公式インスタ  
 グラムで公開中



## 動物フェスティバル 神奈川2023 in あつぎ 公開講座



無料

動物との暮らしや防災を学ぶ講演会を開催します。  
 ☎生活環境課 ☎225-2750

- ペット防災に関する講演  
 日時 10月22日 11時~12時30分  
 内容 (一社)日本防災教育訓練センター代表理事サニーカミヤ氏の講演
- 人と動物の暮らしに関する講演  
 日時 10月22日 13時30分~15時  
 内容 「犬と猫どっちも飼ってると毎日たのしい」の著者松本ひで吉氏の講演

いずれも厚木商工会議所。県内在住の方70人。☑往復ハガキ、Eメールに講演会名、〒住所、氏名、電話番号、同伴者の氏名・住所(3人まで)を書き、9月20日(必着)までに〒243-0392愛川町環境課・✉kankyo@town.aikawa.kanagawa.jpへ。抽選。

### 若者・女性と市内企業とのWEB合同企業説明会

9月26・28日、13~16時。市内企業によるオンライン説明会。①49歳以下②2024年3月に卒業見込みの学生=26日③子育てなどで仕事を離れていた女性=28日一のいずれかに該当する方各回100人。☑前日までに厚木商工会議所 ☎221-2153へ。☎産業振興課 ☎225-2831。

### あつぎ郷土博物館の実習生が展示を解説

9月9日、14時~14時30分。あつぎ郷土博物館。博物館実習生が土器や民具などの基本展示を解説。無料。☑不要。☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515。

### 保護者セミナー・登校をしぶるときのよい対応の仕方

9月26日、18時~19時15分。あつぎ市民交流プラザ。講話と情報交換。子どもの学校生活に心配や気になる事がある保護者など。☑9月25日までに青少年教育相談センター ☎225-2520へ。

### 応急手当普通救命講習会

9月22日、9~12時。消防本部。応急手当の重要性、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。☑9月1~11日に救急救命課 ☎223-9365へ。抽選。📄

### 小学校入学予定者の健康診断

2024年4月から小学生になる方(17年4月2日~18年4月1日生まれ)を対象に、10・11月に入学予定校で健康診断を実施します。詳細は9月頃に各世帯へ通知。当日受診できない場合は、学務課 ☎225-2651へ。

### 市議会正副議長が決定

8月8日の市議会第5回会議で、議長に遠藤浩一氏(公明党)、副議長に高橋豊氏(ネクストあつぎ)が選出されました。遠藤氏は、副議長をはじめ、市民福祉常任委員会委員長や議会運営委員会委員長などを歴任。4期目。51歳。中町在住。高橋氏は、市民福祉常任委員会委員長や都市経済常任委員会委員長などを歴任。3期目。66歳。愛

甲在住。☎議会総務課 ☎225-2700。

### 9月10日は「屋外広告の日」・9月1~10日は「屋外広告物適正化旬間」

期間中パトロールを実施します。屋外広告物の適正な設置・管理と良好な景観形成に協力してください。☎都市計画課 ☎225-2401。

### 商店街プレミアム商品券を販売

厚木みなみ商工クラブの店舗で使える1セット6500円分(500円×13枚)の商品券を販売します。《販売場所》参加店(店頭に表示)《販売期間》9月15日~(先着順)《価格》1セット5000円(1人10セットまで)《発行数》1600セット《使用期限》10月31日まで。☎商業にぎわい課 ☎225-2840。

### みんなの声でつくるまち

《パブリックコメント》  
 ■学校給食費無償化に関する制度の導入に伴う条例等の改正の骨子  
 ☎学校給食課 ☎225-2683  
 ◆市税条例の改正の骨子  
 ☎資産税課 ☎225-2031

いずれも《閲覧期間》9月1日~10月2日《閲覧場所》市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、保健福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市HP、■学校給食課◆資産税課《応募方法》閲覧場所にある用紙で確認。

厚木市 市民参加 検索

### 9月9日は救急の日



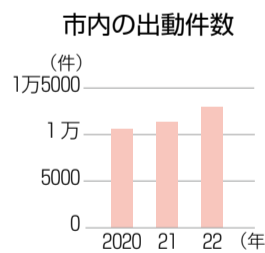
## 救急車の適正利用を

救える命を確実に救うため、救急車の使い方を改めて見直しましょう。

☎救急救命課 ☎223-9365

### こんな時は迷わず119番通報を

- ・呼吸や心臓が停止
- ・けがをして大量の出血
- ・呼吸が苦しい
- ・けいれんが止まらない
- ・激しい頭痛、腹痛、胸痛
- ・意識状態がおかしい



### あつぎ救急フェア

AEDを使った心肺蘇生法の体験や、救急車・資器材を展示するイベントを開催します。

《日時》9月9日 9~14時  
 《場所》アツギトレリス ☑不要。



2019年のフェアの様子



## 9月10~16日は自殺予防週間 こころ、元気ですか？

心の疲れには、早めに気づき、対応することが大切です。一人で抱え込まず、相談してください。

### 臨床心理士による「いのちのサポート相談」

直接または電話で相談できます。

日時 ①9月11日 13~16時 場所 保健福祉センター  
 ②9月28日 9~12時 対象 市内在住の方  
 ③10月10日 13~16時

☑希望日の前日までに健康づくり課へ。 ☎健康づくり課 ☎225-2201

### インターネットモニターからの意見を紹介



インターネットモニター募集  
 厚木市 インターネットモニター 検索

☎広報課 ☎225-2043

### 8月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆アユの遡上を見てみたい/50代男性 ◆意欲的な高齢者を雇用するのは社会全体のメリット。補助金は中小企業にとって助かる/40代女性 ◆「もみじの手」は知っていたが、さまざまなニーズに対応できる仕組みがあることは初めて知った/70代男性 ◆七沢には観光できる場所がたくさんあると再認識した/30代女性 ◆久しぶりに飲食も楽しめるジャズナイトが開催されるのでうれしい。市外の友人も誘いたい/40代女性

### 編集後記

文化芸術の紙面に合わせて、表紙の題字「ATSUGI」を子育て支援センターに来ていた子どもたちに塗ってもらいました。目をキラキラさせながら色塗りに協力してくれた皆さん、ありがとうございました！表紙の撮影を通じてたくさんの方に出会いましたが、皆さん楽しそうに活動する姿が印象的でした。私も家の奥に眠っていた塗り絵と絵の具で芸術を楽しみたいと思います/野口



日頃の備えを見直す

# 総合防災訓練

今年に関東大震災から100年が経過する節目の年です。この機会に改めて防災を考え、いざという時に備えましょう。

☎危機管理課 ☎225-2190

《日時》9月3日 8時30分～

《場所》各自主防災隊の訓練場所(回覧などに掲載)

《訓練内容》避難経路や備蓄品などの確認、避難所の開設、防災資機材の点検、水消火器などを使った初期消火(自主防災隊により異なる)



## 事前に確認 オールハザードマップ

洪水・浸水、土砂災害、地震で想定される被害の危険性を地図で確認できます。

## 《マイタイムラインを作ろう》

避難時の行動を時系列や役割別に記入でき、災害時の行動をまとめられます。この機会に家族で話し合しましょう。

《配布場所》危機管理課や公民館(市HPにも掲載)



心肺蘇生やAEDの使い方を訓練



簡易トイレの設置方法を確認



マップはこちら

時間差で発生する巨大地震に備えて

## 南海トラフ地震の臨時情報

南海トラフ地震は、今後30年のうちに70～80%の確率で起こるとされ、市内で最大震度5強の揺れが想定されています。特徴は、離れた場所で同時に起きたり、時間差で発生したりする可能性があることです。気象庁から発表される情報の種類を知り、焦らず落ち着いて行動できるよう備えましょう。

## 《南海トラフ地震臨時情報が発表されたら》

| 臨時情報の種類          | 取るべき行動  |
|------------------|---|
| 調査中              | 今後発表される情報に注意  |
| 巨大地震注意<br>巨大地震警戒 | 日頃の地震の備えの再確認<br>地震が発生したらすぐに避難できる準備<br>※期間などの詳細は市HPに掲載 |
| 調査終了             | 地震の発生に注意しながら通常の生活                                     |

郷土博物館のミニ展示

## 100年前の大地震とあつぎ

関東大震災発生当時の写真や古文書などを展示します。

《期間》9月24日まで

《場所》あつぎ郷土博物館

☎あつぎ郷土博物館 ☎225-2515



防災への意識を高める

## かながわ防災フェア2023

消防車両の試乗・展示や消防学校の学生が訓練を披露します。

《日時》9月10日 10～15時

《場所》神奈川県総合防災センター

☎県総合防災センター ☎227-0001



詳細はこちら

## 30周年 自然歳時記

●アユ●  
アユ科

アユは、10～30センチほどの大きさで川の中流域にすむ。せきを遡上する姿や、ケイソウの生えたよどみの深い所で群れている様子が見られる。松枝町付近の小鮎川で見つけた。  
写真・文 / 吉田文雄



暑い日が続く、川の土手に生える草花は今にも枯れそうでかわいそう。土手を下りると、川面から何とも言えない涼しい風が吹いてきた。温度計を沈めると21度を示し、川の中の快適な環境がうかがえた。

深いよどみに、キラリと光る魚影が見えた。そっと近づくとオイカワ

やアブラハヤに混じって金色に光るアユもいた。緑色のケイソウの茂る岩の辺りでは、数匹のアユたちが盛んに藻を食べていた。

これから産卵の時期を迎えるアユたち。栄養を蓄えて次世代につなげてほしい。アユを見ながら、この生態系が守られることを願った。

厚木市の人口  
(8月1日現在)

🏠 世帯数 10万4807世帯 (前月比79世帯増)

👤 人口 22万4141人 (前月比46人減) 男11万5486人・女10万8655人